

漢方の小柴胡湯エキス顆粒剤

りき ゆう せん

力湧仙

第2類医薬品

力湧仙は、漢方治療の古典の一つである「傷寒論」に記載されている本来は煎じて服用する小柴胡湯をエキス化して、服みやすく、はやく吸収されて効果が出るように顆粒剤にしたものです。力湧仙は「風邪を引いた後、熱がなかなか抜けなくて胸脇が重苦しい」「吐気がする」「食欲がない」「ふだん胃が弱い」「何となく疲労感がある」などの症状に服用してください。

⚠ 使用上の注意



■ 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人
(体力の衰えている人、体の弱い人)。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
むくみ
 - 次の診断を受けた人。
肝臓病、高血圧、心臓病、腎臓病
 - インターフェロン製剤で治療を受けている人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
そ の 他	頻尿、排尿痛、血尿、残尿感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1ヵ月位（かぜの後期の諸症状に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

効能・効果

体力中等度で、ときに脇腹(腹)からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦味があり、舌に白苔がつくものの次の諸症；

食欲不振、はきけ、胃炎、胃痛、胃腸虚弱、疲労感、かぜの後期の諸症状

用法・用量

次の量を食前又は食後に、温湯又は水にて服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
大人	1包(2.5g)	3回
15才未満～7才以上	2/3量	
7才未満～4才以上	1/2量	
4才未満～2才以上	1/3量	
2才未満	服用しないこと	

用法・用量に関連する注意

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量

3包(成人の1日服用量)中

成分	分量
サイコ	6.0g
ハンゲ	5.0g
ショウキョウ	1.0g
オウゴン	3.0g
タイソウ	3.0g
ニンジン	3.0g
カンゾウ	2.0g

水製エキス
2.7g
(日局小柴胡湯エキス)

添加物として
デンプン含有します。

【注意】

本剤は、生薬を用いた製剤ですので、製品により色が多少異なることがありますが、効果に変わりありません。

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 1包を分割して服用する場合には、残りは袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。

お問い合わせ先

本剤について何かお気付きの点がございましたら、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

株式会社和漢薬研究所 お客様相談室

0120-432-894

[月～金曜日/10:00～17:00(祝日を除く)]

製造販売元：株式会社 **和漢薬研究所**

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山1193